

職場の「格差と貧困」と闘おう

全労連・全国一般東京 夏季学習会



佐々木亮弁護士の講演を熱心に聞く参加者

全労連・全国一般東京は、7月13日から15日まで、武蔵嵐山で、夏季学習会を開催しました。

全国一律最賃制実現に向けて取り組んでいる最低賃金を約40人で開催しました。

萩原伸次郎氏（横浜国立大学名誉教授）の、「G20大阪サミット後の世界の経済」、佐々木亮氏（旬報法律事務所・弁護士）の、今年支部を再建したばかり

計費調査等を通して、私たちの職場の非正規労働者や若年労働者が貧困の中にあることを実感。「職場から格差と貧困をなくそう」を合言葉に、第53回夏季学習会を約40人で開催しました。

また全員参加で「要求実現のための争議と組織化」ニシンボク労働組合の過去「現在未来」を開催。互いの職場活動への質問やアドバイス合戦となり、大いに盛り上がりがありました。

中小企業や大企業職場、



五輪施設の前で労働者にチラシを配布する参加者(7/24)

東京五輪開催まで一年となる7月24日、首都圏の建設労働組合は国土交通労組等と共に関連施設で宣伝を実施。五輪大会を通じて技能労働者の抜本的な処遇改善を図ることを目指しています。

安全対策の徹底は急務

東京五輪の施設整備では、23歳の青年の過労自死（新国立競技場）やクレーン車の台座旋回中に足場と挟まれ圧死（31歳、晴海選手村）等2件の重大災害が発生しています。国際建設林業労組連盟（BWI）と全建設連の合同調査では、「作業中、頭上でクレーンが数トンのコンクリート部材を吊り下げていた。恐ろしくなった。（型枠工）」

「仮設電気が外され、暗所作業でケガをした。（設備工）」等、引き続き労働者の安全が脅かされている実態が明らかになりました。

ハードからソフトへ建設産業の五輪輸入場行進を求め、五輪組織委員会や自治

東京五輪開会1年前

賃上げ・安全対策強化など求め

首都圏の建設労組などが宣伝

業の一大転換を

小池都知事は、所信表明演説で東京五輪を「ハードあり得ません。技能や経験資格に見合う賃金引き上げを実現させよう」と訴え、チラシを受け取る作業員の反応も良好です。「現場が暗い（新国立競技場）」

「長谷工で法定福利費もろえない（晴海選手村）」

「更衣室が欲しい」と現場の声を寄せられています。一つ一つを改善につなげ、若者が希望もって入職できる建設産業を築くために首都圏労組は、残り1年間で、官民の垣根を越えて運動展開をすすめます。

体請願を行い、品川区と西東京市で採択されました。技能者の社会的有用性を広く国民に発信し、業界を変え、力にと考えています。技能と経験に見合う賃金の実現をめざす

「東京五輪の成功は、建設技能者の存在なくしてはあり得ません。技能や経験資格に見合う賃金引き上げを実現させよう」と訴え、チラシを受け取る作業員の反応も良好です。「現場が暗い（新国立競技場）」

「長谷工で法定福利費もろえない（晴海選手村）」

「更衣室が欲しい」と現場の声を寄せられています。一つ一つを改善につなげ、若者が希望もって入職できる建設産業を築くために首都圏労組は、残り1年間で、官民の垣根を越えて運動展開をすすめます。

毎月、幹事会前に平和宣伝を実施

一日野労連



多摩動物公園前で(5/5)

日野労連は毎月、幹事会の開催時間前に、JR日野駅前で宣伝を行っています。3000万人署名の到達数は、7月中旬で1070筆となっています。

また、5月5日の子どもの日には、無料開放された多摩動物園の前で、ウェットティッシュ（憲法東京共同センター作成）を1人で配布しました。「平和でこそ動物園で楽しめます。戦争中には象も危険として殺傷されました」と呼びかけに、幼い男の子を連れた母親は「子供が戦争に行かされるのは嫌だ」、孫と一緒にの高齢婦人は「憲法9条は守りたい」、普段チラシを取らない若い世代も「平和が良い」と次々に受け取り、2500人に届けました。

5月18日には、JR豊田駅北側のUR住宅など合計33棟1800戸に、署名用紙・着払い返信用封筒・署名のお願いをセットしたポストイン行動を9人で実施しました。各自が150〜200のセットと地図を手に、短時間で効率的に行いました。返信署名数は約70筆に達しています。

3000万署名に奮闘

電機・情報ユニオン八王子分会



署名を呼びかける組合員

電機・情報ユニオン八王子分会は、18年1月から19年6月まで毎月、宣伝カーに取り組みできました。

毎回、横断幕のぼり旗でアピールし署名を訴えました。最初の頃は、北朝鮮のミサイル発射、安倍政権の外交の影響もあり、「外交では無理、無責任だ！安倍支持だ」等の悪罵もありましたが、「森友・加計学園」疑惑の頃には「アベは許せない、辞めさせろ」と署名する人が増え、政治情勢が署名に反映することを実感しました。また、宣伝日が雨や雪、夏の炎天下も必ず街頭署名を実施し、毎回成果を上げました。

宣伝での署名157筆と、分会員が集めた署名は合わせて298筆。分会目標は達成しましたが、300万人の署名達成まで引き続き頑張る決意です。

学習の友 9月号

よりよい仕事と労働組合の役割

「仕事がつまらない」と思うあなたと考える
レポート「よりよい仕事」をめざす労働組合の取り組み

仲野 智

「過渡期」に取り組む労働組合運動
マルクスが語った労働とその疎外とは

赤堀正成
岩佐 茂

ILO・ハラスメント禁止条約と日本の課題

大西玲子

【新連載】若者たちと考える過労死 多様な生き方を承認する社会を

石井拓児 宮城道良

労働者教育協会編 定価500円 送料70円
お申し込みは 学習の友社 tomo@gakusyu.gr.jp ☎ 03 (5842) 5641

前にて宣伝行動を実施し、40人が参加しました。村山大和地区労第11回大会

7月25日、東京土建村山大和支部会館で開催。議長に相山昇司さん（東京土建村山大和支部）、事務局長に大西奈緒美さん（東大和市職労）。

宣伝後、口頭弁論、報告集会が行われました。東京地本第8回大会

7月27日、渋谷区立勤労福祉会館で開催。委員

7月12日、エテュカス東京で開催。委員長に酒井かをりさん、書記長に木村広さん。

7月27日、北多摩西教育会館で開催。議長に芳賀次郎さん（立川労連議長）、事務局長に杉本正巳さん（JMITU東京西部地協）。

年金者組合東京都本部第31回大会

8月1日、とし産業界

7月24日、ラパスホールで開催。委員長に川口長に杉山文一さん、書記長に野口洋子さん。

英晴さん、書記長に野中祐一さん。